

救急医療と最先端医療を西三河南部東医療圏の皆さまへ b域の皆さまの安全を守る24時間365日の二次救急医療と、ダビンチをはじめとする大学病院 ならではの高度で最先端の医療を、西三河南部東医療圏の皆さまへ提供します。 **長者目線に立った病院づくりを目指し、上下階移動を極力排除すべく、外来部門を1階に集** 的。その他、見通しの確保や、分かりやすさへの配慮、良好な病室環境を実現する設備システ ム、免震構造の採用など、患者さまの利便性や安全性を重視した設計となっています。 2018年5月: 工事着工 2020年4月:開院予定 外観イメージ

(岡崎駅南土地区画整理事業48街区1画地)

敷地面積: 29,717.19㎡

建築面積: 8,685.15㎡ ※病院本体面積

延べ面積:37,663.60㎡ ※病院本体面積

数:地上8階(病棟は7階まで)

構造形式:鉄骨造(免震構造)

病床数 : 一般病床400床

診療科目: 救急科、循環器内科、

消化器内科、呼吸器内科、

内科、放射線科、外科、

胸部外科、脳神経外科、

整形外科、婦人科、泌尿器科、

小児科、皮膚科、腫瘍内科、

眼科、耳鼻いんこう科、

リハヒ゛リテーション科、

精神科、歯科、麻酔科、

病理診断科 全22科

※一部診療科は入院患者のみ

駐車台数:951台(一般488台、職員他463台)

財政支援:岡崎市・幸田町

施設の特徴

所:愛知県岡崎市針崎町字五反田1番地 ■ 大地震時にも主要機能を維持する免震構造

病院本体は、免震構造を採用。大地震時の建物への衝撃を抑制することで主要機能を維持 し、岡崎市南部の防災拠点として、地域の皆さまの安全を守ります。

■ 救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通EVなど重症対応が可能な動線設計 重症者の緊急手術に対応出来るよう、救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通 EVを設置。また、救急外来に隣接して画像診断エリアを配置し、迅速な診断が可能です。

■ 多翼型の病棟形状で視認性の確保とコンパクトな動線を両立

スタッフステーションを中心に3方向に延びる病棟形状を採用。端部病室までの視認性の 確保と動線の短縮化を両立させ、安全性を重視しています。また、病棟廊下端部に設けた 窓からは、西三河の山や田園、市街地といった多様な景観を臨むことが出来ます。

■ 安全かつ利便性の高いワンフロア完結型外来

外来部門を1階に集約。患者さまにとって分かりやすく、利便性の高い病院とします。



マスタースケジュール																																												
201	7	7 2018												2019													2020																	
4	5	6			8				10	1	11			1	3	4		6	7	8	3	9		11	1	2	1	2		4	5	6	7	8	9	10	11	1:	2 1		2		4	
設計												Ж	<u>本工事</u>															X	付帯工事			院 EN												
						П		П							\square'		_																										Ť	

建物内の階構成と動線

4階

3階

2階

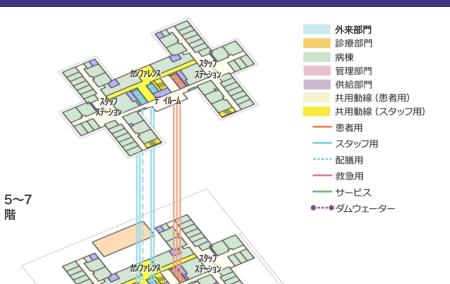
手術

中央材料

ストックヤート

放射線治療

【エネルキ" ーセン



ICU

SCU

(脳卒中集中治療

画像診断

内視鏡

検査

HCU (高度治療室)

4~7階 病棟

病室 デイルーム スタッフステーション 4 カンファレンス 等

3階 手術・集中治療

ICU(集中治療室) HCU(高度治療室) SCU(脳卒中集中治療室) 手術 🕄

中央材料 医局・図書

2階 供給・事務

食堂 講堂 リハビリテーション 薬物治療 薬剤 厨房 検査 ストックヤード 事務

1階 外来・検査

外来受付・会計 入退院センター 地域連携 外来 救急 2

検査 内視鏡 画像診断 放射線治療 🕕

病棟階平面



4 スタッフステーションを中心に3方向に 延びる病棟形状を採用し、端部病室まで の視認性の確保と動線の短縮化を両立。



🕄 ロボット支援手術システム、ダビンチを 導入し、低侵襲の最先端治療を提供。



2 救急外来から手術室・集中治療室フロア への直通EVを設置。24時間365日の 二次救急に対応。



● 悪性腫瘍治療に有効な放射線機器 リニアック、PET-CTを導入。